

友だちとの再会に
笑顔があふれます



あなたが写っていませんか?広報さやまに掲載した写真は、広報課で撮影したものでしたら無料で差し上げます。広報課までご連絡ください。

●ゲーテン ターク(こんにちは) 本場ドイツの家庭料理をどうぞ!

1月19日、奥富公民館で大人のためのドイツ料理教室が行われました。講座では、参加した14名がドイツ人留学生の講師2名と、会話をしながら和気あいあいと料理を学びました。



●未来に向かってさらなる飛躍を!

新成人1千988人

1月9日、「成人の日」に、第52回狭山市成人式が行われ、今年も市内1千988人の新成人が大人の仲間入りを果たしました。会場となった市民会館では、澄み渡った青空の中、艶やかな晴れ着や、新しいスーツに身を包んだ新成人たちが、久しぶりに顔を合わせた旧友たちと、晴れやかに、大人への第一歩を踏み出しました。

式典では、各中学校出身の代表者が自らの生き方や社会への思い、未来の希望や夢を話し、出席者は真剣な表情で聞き入っていました。

●一年の安全を願って...消防出初式



当日は退職消防団員報償と永年勤続消防団員家族の表彰も行われました

1月8日、上奥富運動公園で消防出初式が行われました。消防署職員や消防団員、女性消防協力隊などが分列行進などを行い、訓練展示では、化学物質災害訓練が行われ、最後には、消防署、消防団、自主防災組織による一斉放水で締めくくりました。

●上手に書けたかな...

かきぞめ・もちつき大会



1月5日、中央公民館でかきぞめ・もちつき大会が行われ、小学生から中学生まで71名が参加しました。真剣なまなざしで用紙を見つめて、一筆一筆慎重に書き進める参加者たち。その後、もちつきが行われ、きなこ、あんこ、からみの3種類に味付けされた餅と温かい豚汁をおいしく食べて、新年の行事を体験しました。

●お正月の伝統行事 豊作を願う繭玉作り

1月12日、柏原保育所で繭玉づくりが行われました。これは、繭に見立てた団子を山桑や柏などの枝にたくさん飾り付ける小正月の行事で、当日は、4・5歳児53名が小さな手で丁寧に丸めて作った紅白の団子を順番に飾り付け、試食の団子をおいしく食べました。



トラツグミ(スズメ目ヒタキ科)



日本には、全国に分布しますが、冬季は暖かいところに移動します。市内でも、冬場に見られ、全長約30センチメートル、翼を広げたときの

長さは約45センチメートルになります。全身が黄褐色で、黒褐色の斑模様を持ち、ツグミ類では最大の種です。丘陵から低い山地の暗い広葉樹林でミズズヤカミキリムシの幼虫、木の实などを食べます。



水富小学校



●感情を表現することの楽しさを学ぶ
「音読群読大会」

私たちの学校では、音読群読大会を行っています。これは、各クラスごとに一つの話をも音読するもので、今年で11回めになります。音読で重要なのは、できるだけ感情をこめて、メリハリをつけて読むことで、この活動をとおして児童は感情を表現する技術や楽しさを学んでいます。また、話の題材や大会の目標などを児童自身で決めて、最後までやり遂げることで、児童の自信にもつながっています。

●55年の歴史を誇る文集「さなえ」

全校児童の作った詩や俳句、短文などを掲載している文集「さなえ」を毎年1回年度末に作成しています。この文集は昭和26年から続くもので、今年度で55回目を数えます。



●まるで雪のようなイメージ...
 初めての香席で日本文化を体験



「午前は、ことづつて香」、午後は「略十種香」がテーマでした

1月21日(土)博物館で、全国でも珍しい香席の体験学習が行われ、64名が参加しました。香席は一般的に和室で正座をして行いますが、気軽に参加できるように、いす席を用意しました。香がたかされると、参加者は緊張した面持ちで、香りを聞いていました。

●絵本が引き出す子どもの顔は百面相



1月28日、中央図書館で講座「パパもママも引き出せる・うちの子の百面相」が行われました。当日は、親子で絵本を楽しむことの大切さや絵本選びのポイントなどが紹介されました。

●「今年一年ワンダフォー」干支の引継ぎ式

1月4日、こども動物園で干支の引継ぎ式が行われ、約200名が訪れました。引継ぎ式は、その年の干支が新年にふさわしい抱負を語るの見所。今年の干支・戌が「今年一年ワンダフォー」と元気に声を上げました。



●女流初の真打落語家が語る
 「みんなに笑いを届けたい」



1月21日、中央公民館で男女共同参画講演会「みんなに笑いを届けたい」が行われました。講師は、落語家で女流初の真打昇進を遂げた、古今亭菊千代氏。苦労話や落語家人生の中で得たものなどを楽しく語り、会場では笑顔が絶えませんでした。